

なぜ、今パチンコ業界は「X広告」なのか？

CCGグループはX社による「X広告」認定代理店です。

・日本最大級のSNS市場

- 月間利用者6,700万人、接触時間No.1
- 情報収集SNSとして定着

・遊技業界と高い親和性

- パチンコ・パチスロ投稿の拡散力が圧倒的
- すでに「情報を求める場」として利用されている

・アカウント整備が広告の成功を生む

- プロフィール・ヘッダー・投稿設計が信頼感を生む
- 無料運用→広告の流れで最大効果

Xは、パチンコユーザーの「今」が集まる場所



ブルーバッジ取得もCCGがフルサポート。
まずご相談ください。



〈東京本社〉〒102-0074 東京都千代田区九段南2丁目3-14 日本生命靖国九段南ビル4F
〈大阪本社(本店)〉〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町1丁目8-14 堺筋本町ビル5F



TEL 03-4321-1114

株式会社CCG ENTERTAINMENT

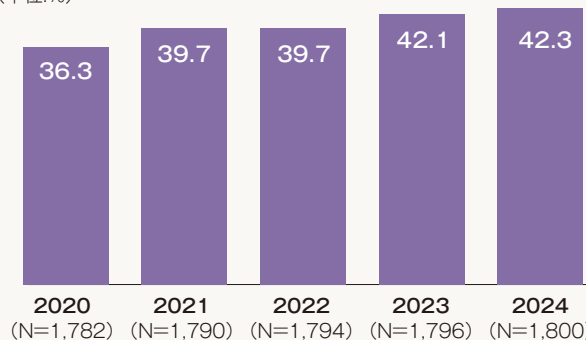
CCG ENTERTAINMENT



『X広告』(旧Twitter広告)

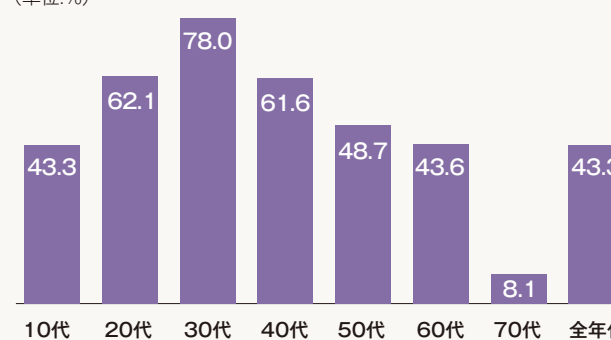
X利用率の推移(全年代)

(単位:%)



Xの年代別利用率(N=1,800)

(単位:%)



競合SNSサービスが毎年多数登場しているが、「X」の利用率は年々上昇している。とりわけ、若年層に多く利用されている点特徴的だ。

出典:総務省情報通信政策研究所「令和6年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」

多くのホールが他店との差別化を強く意識する年末年始商戦において、極めて有効なツールとなるX広告だが、やはり最大の強みは、「今すぐ来店したい」と考えているアクティブなプレイヤー層に対し、即時にアプローチできる点だろう。さらに、アニメや話題のコンテンツと組み合わせることで、新規ユーザーへのリーチも可能だ。特にアニメIP(知的財産)は、強力な集客コンテンツとして機能している。X広告で、特定のアニメに関心を持つユーザー層をターゲットングし、ホールの販促と結

業界において、SNSを活用した販促活動は今や欠かせない要素だ。特に、若年層の間では、「パチンコ店の情報はXで確認するのが当たり前」という状況が定着しつつある。ホール公式およ

び店長アカウントは、来店意欲を刺激する情報源として支持を集めている。X広告出稿のハードルも下がった。今では広告出稿と同時に青バッジが自動付与され、法人クレジットカード利用の制約も緩和されている。また今年8月には、X社主催によるパチンコホール向けセミ

アニメIPと絡め『X広告』の威力増加

ナーが開催された。一つの業界に対しX社がセミナーを行うのは異例。いかにパチンコ業界に對して注目しているかが分かる。



CCG ENTERTAINMENT企画部 小坂橋奎人マネージャー(右)と、営業部 樋口知子部長。

びつけば「新規ファン」として、取り込むチャンスにもなる。

X広告認定代理店である同社営業部の樋口部長は、「これまでに多くのホール様のX広告運用をサポートし、訴求ポイントを熟知しています。単なる広告出稿に留まらず、店ごとに適したターゲットティング設計を包括的に支援できる点が強みです」と自信を示す。スピード感のある情報発信と効果的なターゲットティングは、今後の市場競争を勝ち抜く上で不可欠。X広告で確実な成果を得るためにも、専門家への相談が最適な選択肢となりそう。

商戦期販促の切り札として拡がる『X広告』

強みはアクティブなファン層に直接リーチできる点。認定代理店CCGグループが提案する最新の販促戦略とは。